



JDS

The Project for Human Resource Development Scholarship

人材育成奨学計画



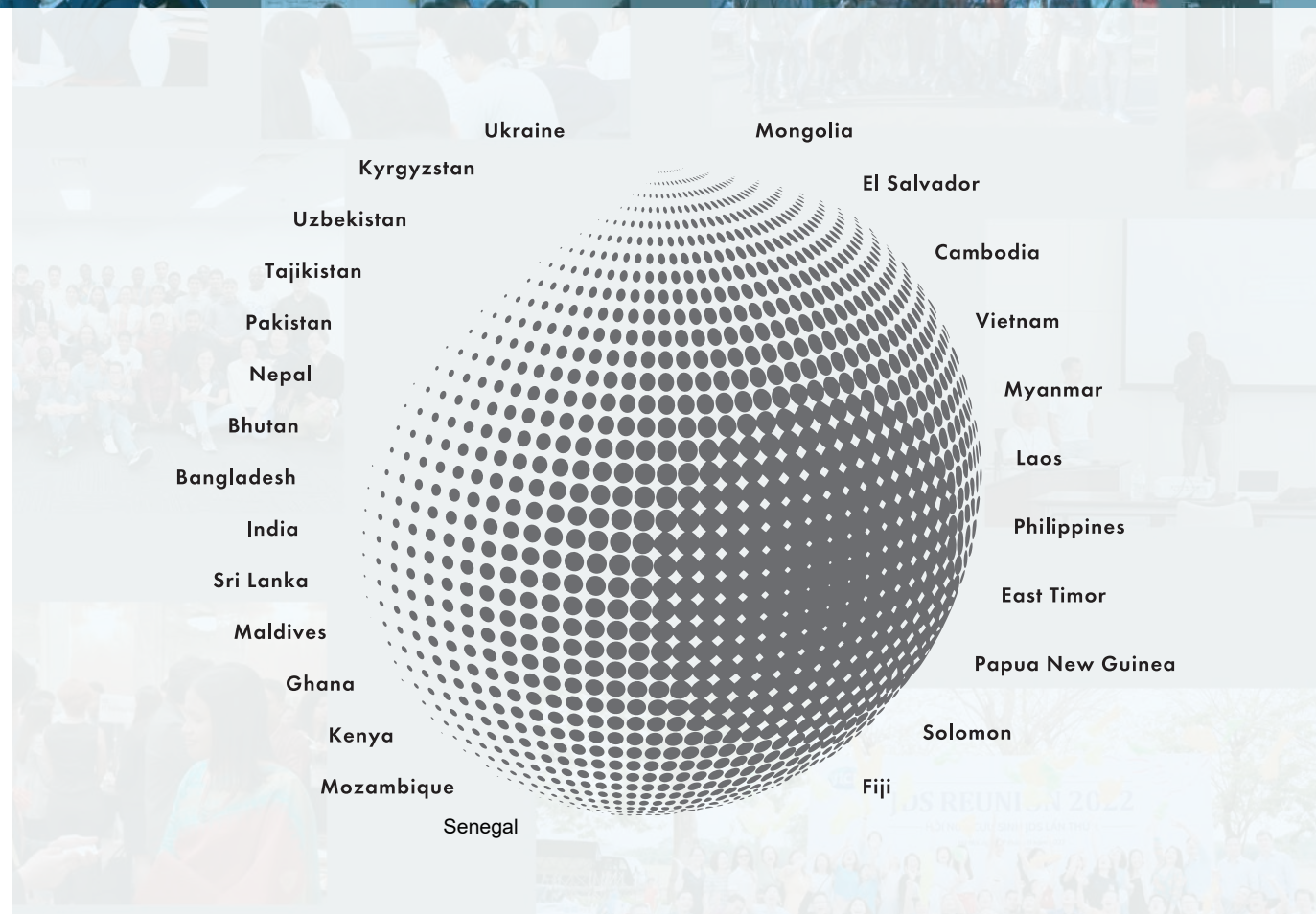
The Project for Human Resource
Development Scholarship

人材育成奨学計画



JDS とは

「人材育成奨学計画」(The Project for Human Resource Development Scholarship: 通称JDS)とは、無償資金協力による開発途上国の若手行政官等を対象とした留学生受業です。JDSは1999年度に「留学生支援無償事業」として創設されて以来、これまで6,000名を超える留学生に学ぶ機会を提供しています。



JDS の目的

日本での
学びを
各国の
課題解決へ

■ 日本の大学院に留学する機会を提供し、帰国後は、社会・経済開発計画の立案・実施において、留学中に得た専門知識を活かして、将来、政府中枢でリーダーシップを発揮し、活躍すること

二国間
関係の
強化

■ 日本で政府関係者等のネットワークを強化し、信頼できるパートナーとして、相手国と日本との二国間関係が中長期的に維持・強化されること

JDS 変遷

「留学生支援無償事業」 として創設	1999
留学生初来日	2000
名称を 「人材育成支援無償(JDS)」に変更	2007
初のJDS帰国生同窓会設立 (バングラデシュ)	2010
アフリカ地域から初来日 (ガーナ)	2012
名称を 「人材育成奨学計画(JDS)」に変更	2015
博士課程の受入開始 集合研修の導入	2017
JICA開発大学院連携開始	2018
中南米地域から初来日 (エルサルバドル)	2021
欧州地域から初来日 (ウクライナ)	2024



2006

留学生来日
1,000人突破

2012

留学生(女性)来日
1,000人突破

2014

留学生来日
3,000人突破

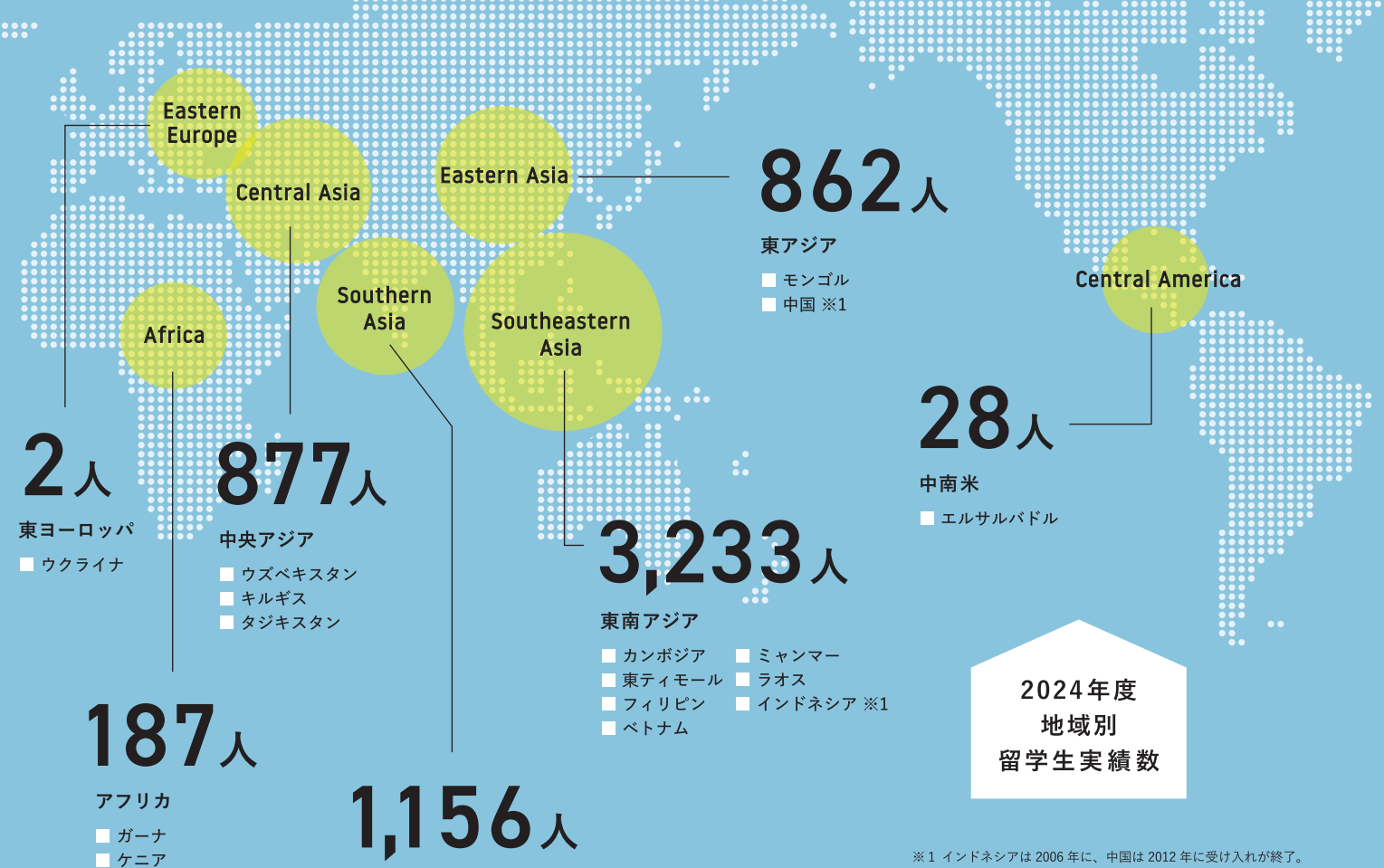
2020

留学生(女性)来日
2,000人突破留学生来日
5,000人突破

2023

留学生来日
6,000人突破

JDSでは、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進のため、女性行政官の参加や能力向上を促進する取り組みを行っています。



JDS 実績

受入実績大学

53大学



数字で見る実績

対象分野ごとの 滞在中留学生数

(2024年10月時点)

JDS による協力が有効と考えられる各国の優先分野・開発課題に対し、4期分の計画を策定し継続的に留学生を迎えます。

開発課題の 解決に貢献する リーダーの育成

高い学位取得率

平均 **98.6%**

JDS 事業全体の学位取得率(修士)は対象国別にみても 92% ~ 100% の範囲にあり、平均98.6%と高い取得率となっています。

対象分野

経済 36.6%

308 名

法・行政 33.8%

284 名

保健 3.2%

27 名

工学 16.8%

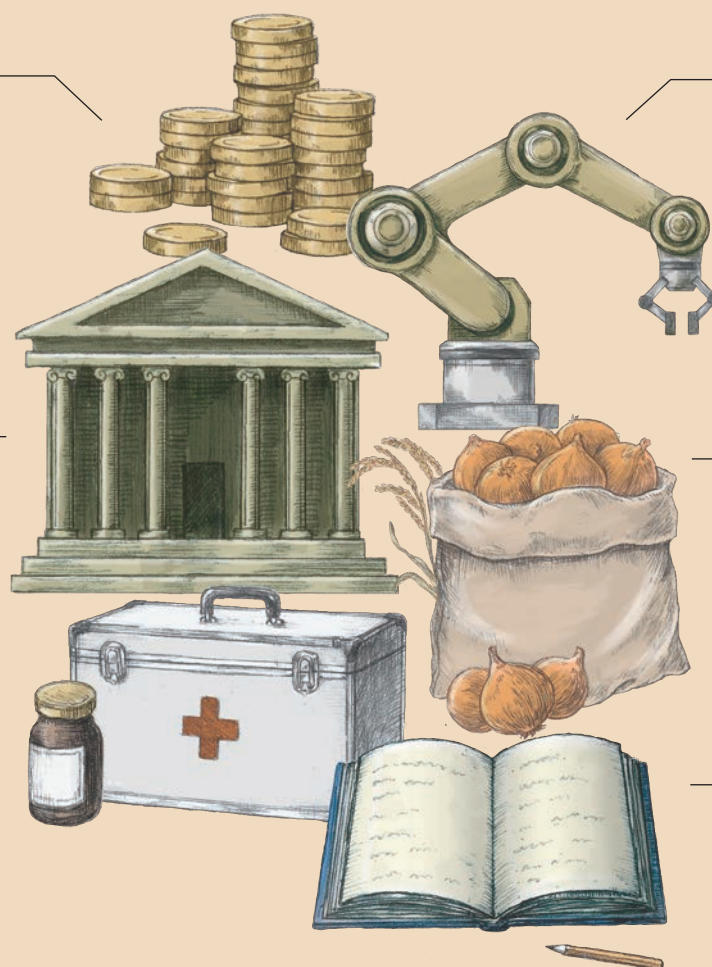
141 名

農業 7.1%

60 名

教育 2.5%

21 名



JDS 事業の効果

自分に対する 自信

自国の開発課題への意識

交渉力

分析力

問題解決能力

指導力

自分の見解を明確に
伝える能力

JDS 帰国生に対する質問票調査の結果、以下の効果について確認できています。

能力の変化

JDSに参加することで、「自国の開発課題への意識」、「交渉力」、「分析力」、「問題解決能力」、「自分に対する自信」、「指導力」、「自分の見解を明確に伝える能力」について、留学後変化があったと多くの帰国生が回答しており、その中でも「自分に対する自信」が最も回答数が多い。

親日感情の高まり

JDS事業を通じて、「日本人・日本に対する信頼」、「日本の社会・文化への理解」が深化している。また、帰国後、日本との関係を促進するための活動に関わっている帰国生も確認できている。

女性行政官の活躍に貢献

平均 **40.9%**

モンゴル 女性 63% 男性 37%

スリランカ 女性 58% 男性 42%

対象国における女性行政官の割合は、平均40.9%。対象国の約半数において留学生に占める女性の割合が上昇しており、女性行政官の人材育成への貢献度合いを高めています。

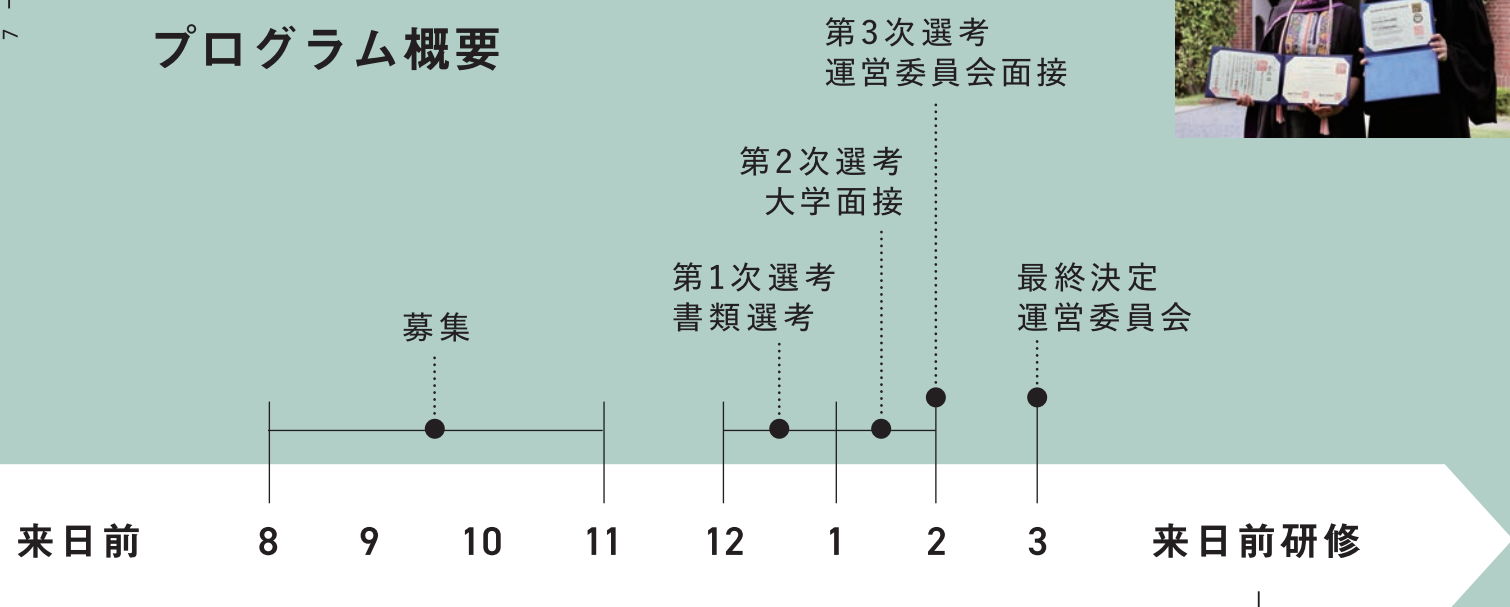
リーダー育成に寄与

バングラデシュ **96.3%**

キルギス **79.6%**

JDS 帰国生の中には、帰国後に昇進し、開発課題の解決に向けて活躍している人が多くいます。バングラデシュでは96.3%、キルギスでは79.6%が役職に就いており、リーダー育成に寄与しています。

プログラム概要



※スケジュールは国・時期によって前後することがあります

留学前に日本を学ぶ

JDS留学生としての意識醸成とともに、日本語・日本文化への理解深化を目的とした研修を提供し、留学生生活の円滑なスタートを支援しています。

1 日本語学習

日本での生活に必要な日本語の基礎を習得

2 日本の開発協力

日本の開発経験や各国に対する日本の協力量針や実施中プロジェクトについて説明

3 日本文化理解

日本の文化や円滑に日本での生活を始められるよう、社会のルールやマナー、生活習慣などの情報を提供



日本での学びとネットワークを 自国の開発課題に活用

1 留学での研究成果の共有

帰国報告会を開催し、研究成果についてJDS留学生の所属機関やJDS帰国生等に向けて発表

2 フォローアップセミナー

JDS受入大学の教授による特別講義、JDS帰国生同士のネットワーク構築機会を提供

3 留学生同窓会

各国での同窓会組織の設立により、日本留学経験者同士のネットワークが強化・維持拡大



来日中

留学生生活を豊かにする充実のプログラム

大学院での学業に加え、将来の二国間関係強化に繋がるネットワーク構築の機会、キャリアアップを見据えたリーダーシップ能力強化等、様々なプログラムを提供しています。

1 行政官交流会

JDS留学生と日本の行政官との意見交換及び人的ネットワーク構築の機会提供

2 集合研修

日本の開発経験・文化・社会やリーダーシップ、ジェンダー平等化などの研修機会を提供

3 知的ネットワーク強化

国内外の学会での発表やセミナーへの参加などを通じた、アカデミックな交流機会の提供

4 大学提供の特別プログラム

JDS受入大学による各国ニーズに即した個別プログラムや充実した指導・受入体制の提供

5 JICA関係者との交流会

JICA職員に加え、JDSとは異なるJICA留学プログラムで来日している留学生との交流を通じ、各国の開発課題や具体的な事例を学ぶ機会を提供



